

図書館利用者懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)

<p>【対応状況・凡例】</p> <p>◎ すでに対応している項目</p> <p>○ 早急に対応を行う項目</p> <p>□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目</p> <p>－ 対応が困難な項目</p>			
--	--	--	--

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	平和台は管轄ではないが、今後平和台図書館とも連携できたらよい。(北町はるのひ地域包括支援センター)	サービスの対象範囲を広げ、利用者層拡大につながる取組と認識しています。連携を目指します。	□
2	多世代交流を促すような仕組みがあってもいいと思う。せっかくこれだけの若者が図書館を使っているのだから、勉強・自習だけで終わらせるのはもったいない。	1階ロビーの地域交流スペース活用をさらに進め、多様な世代に認知してもらい、世代間交流促進に着目した施策も計画いたします。	□
3	どのような図書館にしたいか、子どもたちとディスカッションをする場を設定してはいかがか。	児童・青少年からの積極的な意見聴取、青少年の主体的な事業参加を通じ、子どもに寄り添った図書館づくりを推進します。	□
4	来年は平和台図書館の開館50周年を記念して、利用者と力を併せ、記念フェスティバルを企画してほしい。懇談会に出席して、これだけ多様なスキル・経験を持った方が地域に存在することがわかったので、ぜひ実施してほしい。	開館50周年に相応しい企画であると感じます。図書館が企画・場の整備を行い、主役である地域の皆様にご活躍いただきます。ご期待ください。	□
5	懇談会といたら固くなってしまうので、楽しみながら出来る企画(フェスティバルの一企画として実施するなど)を実施した方がいいのではないか。	練馬区共通の利用者懇談会の趣旨を損なわないよう留意しつつ、新しい懇談の機会を作ります。	□
6	以前実施した布の絵本の作品展示会がとても素晴らしい内容であったため、また実施してほしい。	布で絵本を作る会たんぼぼの皆様と連携し、より充実した内容で展示会実施を計画します。	○

7	大活字本などニーズがあるのにあまり知られていない図書館資料をもっと周知してほしい。	サービス対象者にしっかりと情報をお届けできるよう引き続き発行物などを活用し広報を強化します。また将来的にはオレンジコーナーの設置にて周知を図ります。	□
8	広報を強化するため、デジタルサイネージを導入してはいかがか。	予算計画において、導入が可能か否かを見極めます。	□
9	図書館でボランティア活動を行いたい。	希望する活動内容を確認し、出席していた平和台ブックスタートの会代表者と一っしょにブックスタート運営スタッフ募集について情報共有し、応募を促しました。	◎